

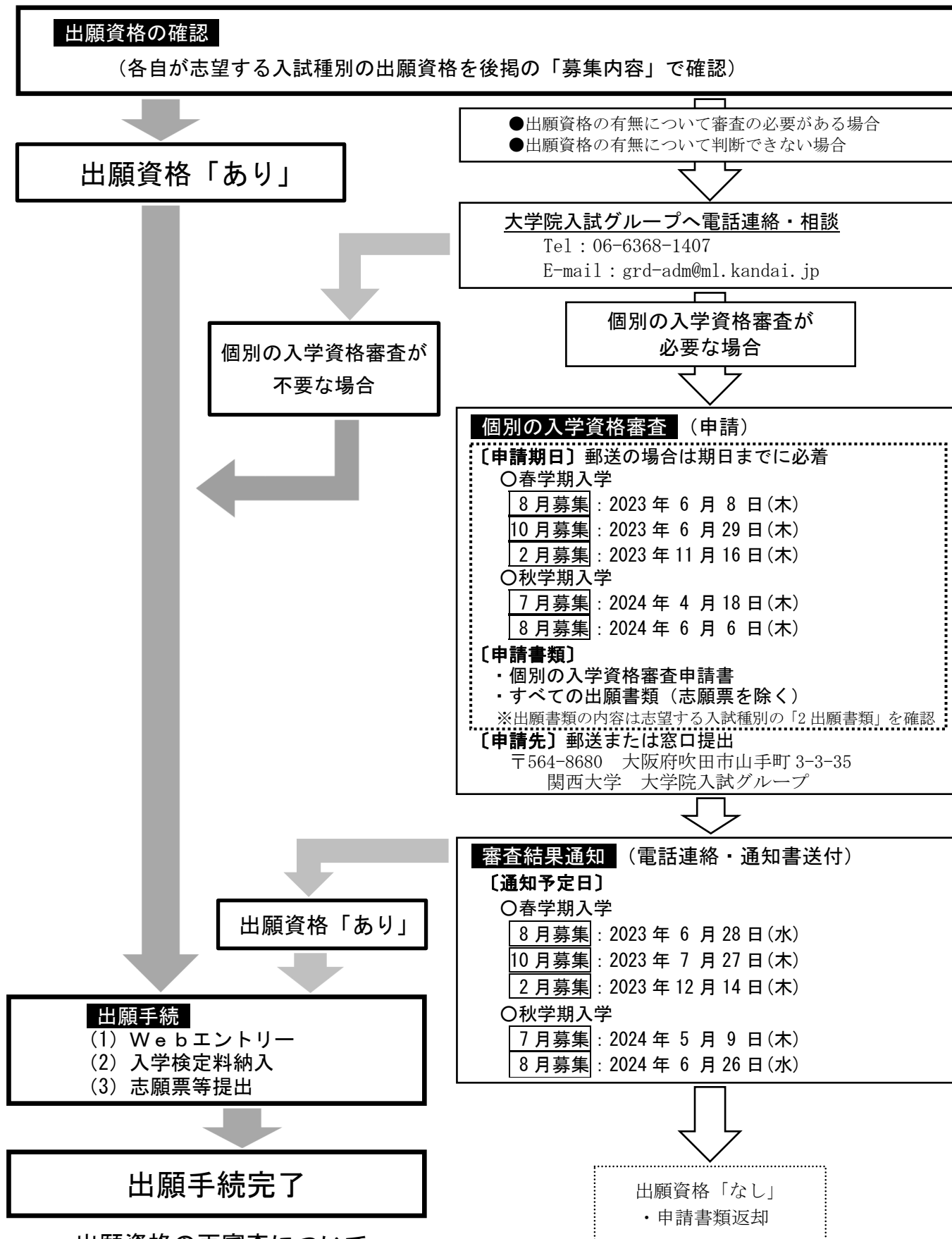
2024 年度

学 生 募 集 要 項

理工学研究科

関西大学大学院

# I 出願前の確認



## 出願資格の再審査について

以下の場合には個別の入学資格の再審査を経ずに出願を認めます。  
ただし、同一研究科への申請かつ、申請者の学歴に変更が生じない場合に限りです。

- (1) 個別の入学資格審査の結果、出願資格を一度認められた者が、同一入学年度内の他の日程に出願する場合
- (2) 外国人研究生として個別の入学資格審査を受け、出願資格を認められた在学生在が、引き続き外国人留学生入学試験を出願する場合

## Ⅱ 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

### 前期課程

理工学研究科では、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、様々な入試制度を通じて、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた入学者を広く受け入れます。

- 1 学士課程で修得した理工学の基礎となる学力を基に、専攻した専門分野を中心とする専門的な知識・技能を修得している。
- 2 学士課程における学習を通じて、グローバルな視野に立って自ら考え、周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりつつ、「考動力」を発揮して社会に貢献できる。
- 3 特定の学問領域を主体的に学んでいく強い意欲を持っている。

### 後期課程

理工学研究科では、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、様々な入試制度を通じて、次に掲げる知識・技能、資質・能力及び態度を備えた入学者を広く受け入れます。

- 1 学士課程及び博士前期課程で専攻した専門分野を中心とする専門的な知識・技能を修得している。
- 2 学士課程及び博士前期課程における学習を通じて、グローバルな視野に立って自ら考え、周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりつつ、「考動力」を発揮して社会に貢献できる。
- 3 特定の学問領域を主体的に学んでいく強い意欲を持っている。

## Ⅲ 2024 年度入学試験日程および各種手続期間一覧

出願手続は、Web エントリー、入学検定料の納入、出願書類の提出により完了します。Web エントリーのみでは出願したものと取り扱いません。出願に際しては本冊子に記載の内容を十分に確認して手続きしてください。

### 【春学期入学】

日 程	8月募集	10月募集		2月募集	
入学定員		【システム理工学専攻】 【環境都市工学専攻】 【化学生命工学専攻】 【総合理工学専攻】		前期課程：142名	前期課程：86名
				前期課程：108名	後期課程：47名
課 程	前期課程	前期課程	後期課程	前期課程	後期課程
入試種別	■一般入学試験	■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験	■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験	■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験 ■特別選抜入学試験	■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験
Web エントリー期間 入学検定料納入期間 出願書類提出期間	2023年6月29日(木)～7月13日(木)	2023年8月18日(金)～9月1日(金)		2023年12月22日(金) ～2024年1月12日(金)	
受験票ダウンロード 開始日	2023年8月7日(月)	2023年10月2日(月)		2024年2月19日(月)	
試験日	2023年8月26日(土) (予備日)2023年8月27日(日)	2023年10月8日(日) (予備日)2023年10月15日(日)		2024年2月24日(土) (予備日)2024年2月25日(日)	
合格者発表日	2023年9月1日(金)	2023年10月13日(金) (予備日)2023年10月27日(金)		2024年3月1日(金)	
入学手続Ⅰ-(1)	2023年9月1日(金)～9月15日(金)	2023年10月13日(金) ～10月27日(金) (予備日)2023年10月27日(金) ～11月10日(金)		2024年3月1日(金)～3月15日(金)	
入学手続Ⅰ-(2) 入学手続Ⅱ	2024年2月16日(金)～3月15日(金)				

※入学学期および入試種別ごとの募集人員は設定していません。

## 【秋学期入学】

日 程	7月募集		8月募集
入学定員	<b>【システム理工学専攻】</b> <b>【環境都市工学専攻】</b> <b>【化学生命工学専攻】</b> <b>【総合理工学専攻】</b>		前期課程：142名 前期課程：86名 前期課程：108名 後期課程：47名
課 程	前期課程	後期課程	後期課程
入試種別	■外国人留学生入学試験	■外国人留学生入学試験	■社会人入学試験
Web エントリー期間 入学検定料納入期間 出願書類提出期間	2024年5月16日(木)～5月30日(木)		2024年6月27日(木)～7月11日(木)
受験票ダウンロード 開始日	2024年7月1日(月)		2024年8月5日(月)
試験日	2024年7月7日(日) (予備日)2024年7月21日(日)		2024年8月24日(土) (予備日)2024年8月25日(日)
合格者発表日	2024年7月12日(金) (予備日)2024年7月26日(金)		2024年8月30日(金)
入学手続Ⅰ-(1)	2024年7月12日(金) ～7月26日(金) (予備日)2024年7月26日(金) ～8月9日(金)		2024年8月30日(金)～9月4日(水)
入学手続Ⅰ-(2) 入学手続Ⅱ	2024年8月21日(水)～9月4日(水)		

※1 入学学期および入試種別ごとの募集人員は設定していません。

※2 前期課程の秋学期入学（7月募集）においては、システム理工学専攻数学分野、環境都市工学専攻建築分野および都市システム工学分野の募集を行いません。

### 【予備日の設定について】

台風接近による暴風警報発令および交通機関運行停止により試験を延期する場合は、上記のとおり予備日に実施します。その場合は、試験当日7時に本大学院入試情報サイトに掲載します。

学内進学試験の学生募集要項は関西大学大学院入試情報サイト ([https://www.kansai-u.ac.jp/Gr\\_sch/](https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/)) で案内しています。

## 理工学研究科（博士課程前期課程）

### 募集研究科・専攻および入学定員

研究科	専攻	入学定員
理工学研究科	システム理工学専攻	142名
	環境都市工学専攻	86名
	化学生命工学専攻	108名

注1 入学学期および入試種別ごとの募集人員は設定していません。

注2 博士課程前期課程の秋学期入学（7月募集）においては、システム理工学専攻数学分野、環境都市工学専攻建築分野および都市システム工学分野の募集を行いません。

## M 一般入学試験（春学期入学：8月募集）

### 1 出願資格

次の(1)～(10)のいずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、(1)～(8)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（注1）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（注2）により学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 大学院に飛び入学した者であって、本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、本研究科入学までに22歳に達する者

注1 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限り、

注2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって上記(5)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。

#### 【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

##### 1. 対象者

出願資格(9)または(10)に該当する志願者

なお、個別の入学資格審査に先立ち、志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります。

##### 2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

なお、出願資格(9)または(10)による出願は、出願前に個別の入学資格審査として行う学力認定試験に合格した者に限ります。学力認定試験は書類選考および口頭試問を実施します。

(注1) 修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

**【重要】**出願に際しては事前に志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります（「大学院 Information2024」または理工学研究科ウェブサイトを参照）。その上で、「志望理由書」の所定欄に連絡した日付および教員名を記入してください。（本学システム理工学部、環境都市工学部および化学生命工学部の在学学生を除く。）ただし、入学後の指導教員は希望どおりにならないこともあります。

## 2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、巻末の「出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出すること。

出願書類【書類番号】	備考
<b>全ての志願者が提出する書類</b>	
志願票（提出用）【①】	Web エントリー完了後に印刷したものを提出してください。
志望理由書【②】	本学所定の用紙 ★本人自筆に限る
出身大学等の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書（原本）を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書（原本）も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）</p>
出身大学等の卒業（見込）証明書【④】	<p>出願書類③に、卒業（見込）であることが記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>卒業（見込）証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>注 出願資格(2)による志願者は卒業証明書に代えて次の①または②の書類を、出願資格(6)による志願者は卒業証明書に加えて次の①の書類を提出してください。</p> <p>①学位を授与された者 学位授与証明書</p> <p>②学位取得見込みの者はアおよびイ ア 志願者が在籍する短期大学の専攻科または高等専門学校の専攻科の修了見込証明書 イ 志願者が在籍する短期大学または高等専門学校による志願者が学士の学位授与を申請する予定である旨が記載された証明書（申請を受理された者は、大学改革支援・学位授与機構の学位授与申請受理証明書）</p>
在留カードまたはパスポートの写し【⑮】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ （特別永住者を除く。）	<p>在留カードの場合は両面をコピーしてください。</p> <p>パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。</p>
写真 2枚	最近3カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。（志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。）
<b>システム理工学専攻 物理・応用物理学分野、機械工学分野、電気電子情報工学分野、環境都市工学専攻 建築学分野、都市システム工学分野、化学生命工学専攻 生命・生物工学分野の志願者</b>	
「TOEIC」または「TOEFL」のスコア証明書【⑭】 ★必ず原本を提出してください。	<p>《出願に必要な外国語検定試験》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TOEIC® L&amp;R テスト「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」</li> <li>・TOEFL iBT® テスト「Test Taker (Examinee) Score Report」</li> </ul> <p>(注1) TOEIC® L&amp;R テスト(IP)、TOEFL ITP® 等の団体特別受験制度のスコア証明書は認めません。</p> <p>(注2) TOEIC® L&amp;R テストのデジタル公式認定証は認めません。</p> <p>(注3) TOEFL iBT® Home Edition のスコア証明書は認めません。</p> <p>(注4) TOEFL iBT® テストにおけるMy Best™スコアは選考対象としません。</p> <p>《スコア証明書の提出について》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スコア証明書は、2021年4月1日以降に受験し、出願締切日までに発行されたものを有効とします。</li> <li>・スコア証明書は原本を提出してください。</li> </ul>

### 3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して可否を判定します。

### 4 試験時間

筆記試験		口頭試問
専門科目	外国語（英語）	筆記試験終了後
10:00～12:00（120分）	13:30～15:00（90分）	

注 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

### 5 専攻・分野別試験科目および配点

専攻	分野	試験科目		配点
システム理工学専攻	数学分野	専門科目	【必須】 微積分、線形代数 【2題選択】 集合と位相、解析、微分方程式、群・環	250点
		外国語	英語	100点
		口頭試問		100点
	物理・応用物理学分野	専門科目	【必須】 力学、電磁気学、数学（微積分、線形代数）各1問 【選択】 量子力学、波動、物性物理、流体力学の中から1問選択 ※ 選択科目については、出願時に受験科目を申請すること	250点
		外国語	筆記試験を行いません。 出願書類として提出された TOEIC または TOEFL のスコアを換算します。	100点
		口頭試問		100点
	機械工学分野	専門科目	下記の5科目の間1すべてと、問2から2問を選択して解答する。 応用数学、熱力学、流体力学、材料力学、機械力学	250点
		外国語	筆記試験を行いません。 出願書類として提出された TOEIC または TOEFL のスコアを換算します。	100点
		口頭試問		100点
	電気電子情報工学分野	専門科目	【電気回路、電磁気学、データ構造とアルゴリズムの3科目から2科目選択】 電気回路 3問出題 問1 直流回路（キルヒホッフの法則、直・並列回路、双対性、電力と整合） 問2、問3 交流回路（正弦波定常回路、回路の複素数表示、ベクトル図、共振回路、回路の諸定理、過渡現象の基礎） 電磁気学 次の範囲から4問出題 電荷、電場、電気容量、磁場、誘導とインダクタンス、電磁力 データ構造とアルゴリズム 次の範囲から3問出題 計算量、データ構造（木構造、グラフ構造を含む）、探索アルゴリズム（データ探索、文字列探索、グラフ探索を含む）、ソートアルゴリズム、C言語によるプログラム記述	300点
		外国語	筆記試験を行いません。	—
		口頭試問		150点



環境都市工学専攻	建築学分野	専門科目	建築学全般にわたる8～10問の設問から5問を選択	300点
		外国語	筆記試験を行いません。	—
		口頭試問		150点
	都市システム工学分野	専門科目	<p>下記科目から2科目を選択 ただし、(a-1)、(a-2)群からは、それぞれ1科目まで選択可能</p> <p>(a-1) 土木計画学（「基礎社会システム計画」、「都市地域計画」の範囲） 水理学（「基礎水理学および同演習」、「応用水理学および同演習」の範囲） 環境工学（「環境工学」、「環境計画学」、「エコシステム工学」の範囲）</p> <p>(a-2) 構造力学（静定、不静定、弾性、弾塑性） 地盤工学（「基礎地盤力学」および「応用地盤力学」の範囲） 建設材料学（「建設材料学および同演習」の範囲）</p> <p>(b) オペレーションズ・リサーチ（「オペレーションズ・リサーチⅠおよびⅡ」の範囲） ネットワーク工学（「情報ネットワーク論」、「分散情報システム」の範囲） ソフトウェア工学（「ソフトウェア工学」、「オブジェクト指向プログラミング」の範囲） 応用数学（「微分積分ⅠおよびⅡ」、「線形代数ⅠおよびⅡ」、「解析学Ⅰ」、「確率モデル分析」の範囲）</p>	250点
		外国語	筆記試験を行いません。 出願書類として提出された TOEIC または TOEFL のスコアを換算します。	100点
		口頭試問		100点
		エネルギー環境・化学工学分野	<p>【必須】 物理化学 〔反応速度論、熱力学（化学平衡、相平衡を含む）、電気化学、溶液論、化学量論〕</p> <p>【選択科目】 反応工学、プロセスシステム工学、触媒工学、流動伝熱、拡散分離の5科目から2科目選択</p> <p><b>注 本学から関数電卓・定規を貸与します</b></p>	250点
	外国語	英語	100点	
	口頭試問		100点	
	化学生命工学専攻	化学・物質工学分野	専門科目	<p>【(1)～(8)の8科目から2科目選択】 ただし(1)と(6)は同時に選択できない。</p> <p>(1) 材料の熱力学と速度論（材料熱力学、速度論、物質移動） (2) 材料の構造と相平衡（結晶構造、X線回折、材料組織、状態図） (3) 材料の力学と物性（材料力学、材料の機械的・熱的・電氣的・光学的性質） (4) 有機化学 (5) 高分子化学 (6) 物理化学 (7) 無機化学 (8) 生体分子化学（生体分子の構造と機能）</p> <p><b>注 本学から関数電卓を貸与します</b></p>
外国語			英語	100点
口頭試問				100点
生命・生物工学分野		専門科目	【次から2科目選択】 生化学、微生物学、有機化学	250点
		外国語	筆記試験を行いません。 出願書類として提出された TOEIC または TOEFL のスコアを換算します。	100点
		口頭試問		100点

# M 外国人留学生入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集/秋学期入学：7月募集）

## 1 出願資格

次の(1)～(5)のいずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、(1)～(4)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者（注1）
- (2) 日本において外国人留学生として大学を卒業した者
- (3) 外国の大学その他の外国の学校（注2）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）
- (4) 日本において外国人留学生として専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (5) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認められた者。ただし、日本において通常の課程による学校教育を受けたと認定した外国人を除く。

注1 以下の学校に在籍した者は、その期間が通算4年以内である場合に限り、出願資格(1)と同様とみなす。

- ・日本の学校教育法に基づく小学校・中学校・高等学校等
- ・日本にある外国人学校
- ・文部科学大臣が認定又は指定した在外教育施設

注2 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限ります。

### 【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

#### 1. 対象者

出願資格(5)に該当する志願者

なお、個別の入学資格審査に先立ち、志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります。

#### 2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

なお、出願資格(5)による出願は、出願前に個別の入学資格審査として行う学力認定試験に合格した者に限ります。学力認定試験は書類選考および口頭試問を実施します。

(注1) 修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

**【重要】** 出願に際しては事前に志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります（「大学院 Information2024」または理工学研究科ウェブサイトを参照）。その上で、「志望理由書」の所定欄に連絡した日付および教員名を記入してください。（本学システム理工学部、環境都市工学部および化学生命工学部の在学学生を除く。）ただし、入学後の指導教員は希望どおりにならないこともあります。

## 2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、巻末の「**出願書類に関する注意事項**」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「**出願書類一覧 (チェックリスト)**」も出願書類と併せて提出すること。

出願書類【書類番号】	備考
<b>全ての志願者が提出する書類</b>	
志願票 (提出用) 【①】	Web エントリー完了後に印刷したものを提出してください。
日本語または英語による志望理由書 【②】	本学所定の用紙 <b>★本人自筆に限る</b>
出身大学の成績証明書 【③】	<p><b>成績証明書は原本を提出してください。</b>原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書 (原本) を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書 (原本) も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学等の成績証明書 (原本) を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に DD (デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー) プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD 派遣先の大学等の成績証明書 (原本) を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書 (書式自由) を作成し、併せて提出してください。(学校印等は不要)</p>
出身大学の卒業 (見込) 証明書 【④】	<p>卒業 (見込) であること、入学年月および卒業 (見込) 年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p><b>卒業 (見込) 証明書は原本を提出してください。</b>原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>注 出願資格 (3) による志願者は、卒業証明書に加えて学位授与証明書を提出してください。</p>
日本語または英語による研究計画書 【⑤】	<p>概要 1,000 字程度 原本 1 部とその写し 3 部</p> <p>パソコン等で A4 用紙 (横書き 40 字×40 行) を使用して作成してください。</p>
在留カードまたはパスポートの写し 【⑬】	<p>在留カードの場合は両面をコピーしてください。</p> <p>パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。</p>
写真 2 枚	<p>最近 3 カ月以内に撮影されたものを志願票 (提出用) と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。</p> <p>(志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。)</p>
<b>システム理工学専攻 物理・応用物理学分野、機械工学分野、電気電子情報工学分野、環境都市工学専攻 建築学分野、都市システム工学分野の志願者</b>	
「TOEIC」または「TOEFL」のスコア証明書 【⑭】 ★必ず原本を提出してください。	<p>《出願に必要となる外国語検定試験》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TOEIC® L&amp;R テスト「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」</li> <li>・TOEFL iBT® テスト「Test Taker (Examinee) Score Report」</li> </ul> <p>(注1) TOEIC® L&amp;R テスト (IP)、TOEFL ITP® 等の団体特別受験制度のスコア証明書は認めません。</p> <p>(注2) TOEIC® L&amp;R テストのデジタル公式認定証は認めません。</p> <p>(注3) TOEFL iBT® Home Edition のスコア証明書は認めません。</p> <p>(注4) TOEFL iBT® テストにおける My Best™ スコアは選考対象としません。</p> <p>《スコア証明書の提出について》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スコア証明書は、2021 年 4 月 1 日以降に受験し、出願締切日までに発行されたものを有効とします。</li> <li>・スコア証明書は原本を提出してください。</li> </ul>

### 3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

### 4 試験時間

筆記試験		口頭試問
専門科目	外国語（英語）	筆記試験終了後
10:00～12:00（120分）	13:30～15:00（90分）	

注 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

### 5 専攻・分野別試験科目および配点

秋学期入学（7月募集）においては、システム理工学専攻数学分野、環境都市工学専攻建築分野および都市システム工学分野の募集を行いません。

専攻	分野	試験科目		配点
システム理工学専攻	数学分野	専門科目	【必須】 微積分、線形代数 【2題選択】 集合と位相、解析、微分方程式、群・環	200点
		外国語	英語	100点
		口頭試問		100点
	物理・応用物理学分野	専門科目	【必須】 力学、電磁気学、数学（微積分、線形代数）各1問 【選択】 量子力学、波動、物性物理、流体力学の中から1問選択  ※ 選択科目については、出願時に受験科目を申請すること	200点
		外国語	筆記試験を行いません。 出願書類として提出された TOEIC または TOEFL のスコアを換算します。	100点
		口頭試問		100点
	機械工学分野	専門科目	筆記試験を行いません。	—
		外国語	筆記試験を行いません。 出願書類として提出された TOEIC または TOEFL のスコアを換算します。	100点
		口頭試問	次のような点について試問を行います。 ①出願時に選択する口頭試問科目を中心とした機械工学の基本的な理解に関する試問 ※口頭試問科目：出願時に応用数学、熱力学、流体力学、材料力学、機械力学の5科目から2科目を選択してください。 ②これまでの研究内容 ③入学後の研究テーマと研究方法 等	300点
	電気電子情報工学分野	専門科目	筆記試験を行いません。	—
		外国語	筆記試験を行いません。	—
		口頭試問	次のような点について試問を行います。 ①出願時に選択する口頭試問科目を中心とした電気電子情報工学に関する試問 ※口頭試問科目：出願時に電気回路、電磁気、情報基礎の3科目から2科目を選択してください。 ※口頭試問科目の出題範囲 電気回路…直・並列回路、双対性、正弦波定常回路など 電磁気…電荷、電場、電気容量、磁場など 情報基礎…データ構造とアルゴリズム、プログラミング(C言語)など ②志望研究領域に関する試問 等	400点

環境都市工学専攻	建築学分野	専門科目	専門に関する小論文（日本語で解答）	250点	
		外国語	筆記試験を行いません。	—	
		口頭試問		150点	
	都市システム工学分野	専門科目	下記科目から2科目を選択 土木計画学（「基礎社会システム計画」の範囲） 水理学（「基礎水理学および同演習」、「応用水理学および同演習」の範囲） 環境工学（「環境工学」、「環境計画学」、「エコシステム工学」の範囲） 構造力学（静定、不静定、弾性、弾塑性） 地盤工学（「基礎地盤力学」および「応用地盤力学」の範囲） 建設材料学（「建設材料学および同演習」の範囲） オペレーションズ・リサーチ（「オペレーションズ・リサーチⅠおよびⅡ」の範囲） ネットワーク工学（「情報ネットワーク論」、「分散情報システム」の範囲） ソフトウェア工学（「ソフトウェア工学」、「オブジェクト指向プログラミング」の範囲） 応用数学（「微分積分ⅠおよびⅡ」、「線形代数ⅠおよびⅡ」、「解析学Ⅰ」、「確率モデル分析」の範囲） <b>ただし、出願時に受験科目を申請すること</b>	200点	
		外国語	筆記試験を行いません。 出願書類として提出された TOEIC または TOEFL のスコアを換算します。	100点	
		口頭試問		100点	
		エネルギー環境・化学工学分野	専門科目 物理化学、化学工学に関する小論文（日本語もしくは英語で解答） <b>注 本学から関数電卓・定規を貸与します</b>	200点	
	化学生命工学専攻	化学・物質工学分野	外国語	英語	100点
			口頭試問		100点
			専門科目	志望研究領域に関する化学・物質工学 <b>注 本学から関数電卓を貸与します</b>	200点
生命・生物工学分野		【次から1科目選択】 生化学、分子生物学、微生物学、有機化学、食品栄養化学 <b>ただし、出願時に受験科目を申請すること</b>		200点	
		外国語	英語	100点	
		口頭試問		100点	

注 研究指導教員については変更することがあります。  
 変更が生じた場合は、本大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。  
 <[https://www.kansai-u.ac.jp/Gr\\_sch/](https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/)> (2024年4月現在)

2024年度 博士課程前期課程 研究領域および担任教員一覧（予定）

専攻	分野	研究領域	教員氏名（○は研究指導教員を表す）
システム理工学専攻	数学分野	コホモロジー的数理	教授 博(理)東工大 ○庄田敏宏
			教授 博(数理学)東大 ○藤岡敦
			教授 博(理)早大 ○村林直樹
			教授 博(理)名大 ○柳川浩二
	教授 博(理)阪大 ○和久井道久		
	准教授 博(数理学)東大 ○神吉雅崇		
	確率・統計	教授 博(理)阪大 ○上村稔大	
		教授 理博(阪大) ○竹田雅好	
		准教授 博(数理)九大 ○上原悠慎	
		准教授 博(理)立命館大 ○田口大	
	物理・応用物理学分野	基礎・計算物理	教授 博(工)名大 ○伊藤博介
			教授 博(理)大市大 ○伊藤誠
			教授 理博(京大) ○関真佐子
			教授 理博(京大) ○和田隆宏
	准教授 博(工)名大 ○本多周太		
	光学・応用物理	教授 博(工)阪大 ○浅川誠	
		教授 博(材)北陸先端大 ○稲田貢	
		教授 博(理)京大 ○山口聡一郎	
		教授 博(工)東大 ○山本健	
		准教授 Ph. D. (メリーランド大) ○山本真人	
機械工学分野	ナノ機能物理工学	教授 博(工)慶應大 ○伊藤健	
		教授 博(工)広大 ○清水智弘	
		教授 理博(東工大) ○新宮原正三	
	流体工学・バイオメカニクス	教授 工博(阪大) ○板東潔	
		教授 博(工)阪大 ○山本恭史	
		准教授 博(工)北大 ○大友涼子	
		准教授 博(工)関大 ○田地川勉	
	材料工学	教授 博(工)阪大 ○齋藤賢一	
		教授 博(工)京大 ○高橋可昌	
		教授 工博(関大) ○宅間正則	
		准教授 博(工)関大 ○佐藤知広	
	トライボロジー・情報マイクロメカトロニクス	教授 博(工)東工大 ○小金沢新治	
		教授 博(工)東大 ○谷弘詞	
		教授 博(工)岩大 ○呂仁国	
准教授 博(工)東京理科大 ○川田将平			
熱工学	教授 博(工)関大 ○梅川尚嗣		
	教授 博(工)同大 ○松本亮介		
	准教授 博(工)関大 ○網健行		
	准教授 博(工)京大 ○小田豊		
生産加工システム	教授 博(工)東大 ○古城直道		
	教授 工博(東大) ○山口智実		
	准教授 博(工)岡山大 ○廣岡大祐		
機械力学・制御工学	教授 博(工)東大 ○宇津野秀夫		
	教授 博(工)京大 ○山田啓介		
計測システム	教授 工博(阪大) ○新井泰彦		
	教授 博(理)広大 ○高田啓二		
	教授 博(工)阪大 ○前泰志		
ロボット・マイクロシステム	教授 博(工)東大 ○青柳誠司		
	教授 博(工)広大 ○鈴木昌人		
	准教授 博(工)東北大 ○高橋智一		
人間・生体情報工学	教授 Ph. D. (ペンシルバニア州立大) ○小谷賢太郎		
	准教授 博(工)青学大 ○鈴木哲		

注 研究指導教員については変更することがあります。  
 変更が生じた場合は、本大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。  
 <[https://www.kansai-u.ac.jp/Gr\\_sch/](https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/)> (2024年4月現在)

2024年度 博士課程前期課程 研究領域および担任教員一覧（予定）

専攻	分野	研究領域	教員氏名（○は研究指導教員を表す）		
システム理工学専攻	電気電子情報工学分野	電気工学	教授	博(工)東大	○ 大 橋 俊 介
			教授	博(工)東大	○ 濱 田 昌 司
			准教授	博(工)関大	○ 米 津 大 吾
		機能性材料・デバイス	教授	博(工)阪大	○ 北 村 敏 明
			教授	博(工)阪大	○ 佐 伯 拓
			教授	理博(早大)	○ 田 實 佳 郎
		准教授	博(工)関大	○ 佐 藤 伸 吾	
		准教授	博(工)筑波大	○ 宝 田 隼	
		情報通信工学	教授	博(工)阪大	○ 平 田 孝 志
			教授	工博(阪大)	○ 山 本 幹
			教授	博(工)阪大	○ 四 方 博 之
			教授	博(工)阪大	○ 和 田 友 孝
		システム情報学	教授	博(工)京大	○ 伊 藤 秀 隆
			教授	博(工)慶大	○ 肥 川 宏 臣
			教授	博(工)金沢大	○ 三 好 誠 司
			准教授	博(工)岡山大	○ 本 仲 君 子
		メディア処理工学	教授	博(工)阪大	○ 梶 川 嘉 延
			教授	博(工)大市大	○ 松 島 恭 治
			教授	博(工)広大	○ 棟 安 実 治
			准教授	博(情報科学)北大	○ 吉 田 壮
		知能ソフトウェア工学	教授	工博(阪大)	○ 榎 原 博 之
			教授	博(工)名大	○ 小 尻 智 子
			教授	博(工)大市大	○ 徳 丸 正 孝
			准教授	博(工)同大	○ 花 田 良 子

注 研究指導教員については変更することがあります。  
 変更が生じた場合は、本大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。  
 <[https://www.kansai-u.ac.jp/Gr\\_sch/](https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/)> (2024年4月現在)

2024年度 博士課程前期課程 研究領域および担任教員一覧（予定）

専攻	分野	研究領域	教員氏名（○は研究指導教員を表す）
環境都市工学専攻	建築学分野	構造系	教授 博(工)京大 ○池 永 昌 容
			教授 博(工)京大 ○榊 井 健
			教授 博(工)京大 ○松 田 敏
		計画系	教授 博(工)京大 ○大 影 佳 史
			教授 博(工)阪大 ○岡 絵 理 子
			教授 博(工)阪大 ○亀 谷 義 浩
			教授 博(工)東大 ○木 下 光
			教授 工博(京大) ○藤 田 勝 也
			准教授 博(美術)東京芸大 ○野 村 正 晴
	准教授 博(工)関大 橋 寺 知 子		
	環境系	教授 学術博(奈良女子大) ○都 築 和 代	
		教授 博(工)京大 ○豊 田 政 弘	
		教授 博(工)阪大 ○原 直 也	
	都市システム工学分野	地球環境系	教授 博(工)京大 ○尾 崎 平
			教授 Ph. D. (南カリフォルニア大) ○飛 田 哲 男
			教授 博(工)京大 ○安 田 誠 宏
准教授 博(工)山梨大 ○橋 本 雅 和			
准教授 博(工)京大 ○林 倫 子			
設計建設系		教授 博(工)阪大 ○石 川 敏 之	
	教授 博(工)九大 ○鶴 田 浩 章		
	准教授 博(工)名大 ○上 田 尚 史		
計画マネジメント系	准教授 博(工)関大 ○北 岡 貴 文		
	教授 博(工)東北大 ○北 詰 恵 一		
	教授 博(工)阪大 ○尹 禮 分		
情報システム系	准教授 博(工)名大 ○井ノ口 弘 昭		
	教授 工博(京大) ○兼 清 泰 明		
	教授 博(工)関大 ○窪 田 諭		
	教授 博(工)立命大 ○滝 沢 泰 久		
	教授 博(工)奈良先端大 ○安 室 喜 弘		
准教授 博(工)奈良先端大 ○安 達 直 世			
工都建 学市築 分野学 野ス分 共テ野 通ム・	地域再生学	教授 博(工)阪大 ○岡 絵 理 子	
教授 博(工)東北大 ○北 詰 恵 一			
教授 博(工)東大 ○木 下 光			
エネルギー環境・化学工学分野	エネルギー工学	教授 博(工)関大 ○池 永 直 樹	
		教授 博(工)関大 ○中 川 清 晴	
		教授 博(工)関大 ○村 山 憲 弘	
		准教授 博(工)阪大 ○福 康 二 郎	
		准教授 博(工)横浜国大 ○松 岡 光 昭	
	環境化学	教授 工博(京大) ○岡 田 芳 樹	
教授 博(工)阪大 ○田 中 俊 輔			
教授 博(工)京大 ○林 順 一			
教授 博(工)関大 ○山 本 秀 樹			
准教授 博(工)関大 ○荒 木 貞 夫			
准教授 博(工)阪大 ○木 下 卓 也			
准教授 博(工)京大 長谷川 功			



注 研究指導教員については変更することがあります。  
 変更が生じた場合は、本大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。  
 <[https://www.kansai-u.ac.jp/Gr\\_sch/](https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/)> (2024年4月現在)

2024年度 博士課程前期課程 研究領域および担任教員一覧（予定）

専攻	分野	研究領域	教員氏名（○は研究指導教員を表す）
化学生命工学専攻	化学・物質工学分野	金属材料設計	教授 博(工)阪大 ○上 田 正 人 教授 博(工)大府大 ○森 重 大 樹
		金属材料プロセス	教授 工博(京大) ○竹 中 俊 英 教授 博(工)阪大 ○西 本 明 生 教授 博(工)関大 ○星 山 康 洋 教授 博(工)北大 ○丸 山 徹
		金属・無機材料物性	教授 博(工)三重大 ○荒地 良 典 教授 博(工)慶應大 ○内 山 弘 章 教授 工博(京大) ○幸 塚 広 光 教授 博(工)京大 ○竹 下 博 之 教授 博(工)阪大 ○春 名 匠 准教授 博(学術)東京医科歯科大 ○近 藤 亮 太
		無機・物理化学	教授 博(理)阪大 ○青 田 浩 幸 教授 工博(阪大) ○石 川 正 司 教授 博(理)九大 ○川 崎 英 也 准教授 博(工)慶應大 山 縣 雅 紀
		有機化学	教授 博(工)阪大 ○梅 田 壘 教授 博(工)岐阜大 ○大 洞 康 嗣 教授 博(工)関大 ○坂 口 聡 教授 工博(阪大) ○西 山 豊 准教授 博(理)大市大 ○矢 野 将 文
		高分子化学	教授 博(工)東工大 ○工 藤 宏 人 教授 博(工)東工大 ○三 田 文 雄 教授 博(工)関大 ○原 田 美由紀 准教授 博(工)京大 ○曾 川 洋 光
		生体材料化学	教授 博(工)日大 ○岩 崎 泰 彦 教授 博(工)京大 ○大 矢 裕 一 教授 博(工)大府大 ○柿 木 佐知朗 教授 博(工)大工大 ○平 野 義 明 教授 博(地球環境科学)北大 ○古 池 哲 也 教授 博(工)神大 ○宮 田 隆 志 准教授 博(工)大府大 ○河 村 暁 文
		生体機能分子化学	教授 工博(阪大) ○石 田 齊 教授 博(工)東大 ○葛 谷 明 紀 教授 博(理)名大 ○矢 島 辰 雄 准教授 博(理)奈良女子大 中 井 美早紀
		計算物質科学	准教授 博(工)名大 ○藤 本 和 士
		生命・生物工学分野	バイオテクノロジー
	ライフサイエンス		教授 博(理)阪大 下 家 浩 二 教授 博(薬)京大 ○住 吉 孝 明 教授 博(薬)京大 ○長 岡 康 夫 教授 博(水産)北大 ○福 永 健 治 准教授 博(工)関大 ○細 見 亮 太 准教授 博(理)北大 ○日下部 り え 准教授 博(理)阪大 ○安 原 裕 紀 准教授 博(生命科学)京大 ○山 口 賀 章

## 理工学研究科（博士課程後期課程）

### 募集研究科・専攻および入学定員

研究科	専攻	入学定員
理工学研究科	総合理工学専攻	47名

注 入学学期および入試種別ごとの募集人員は設定していません。

## D 外国人留学生入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集/秋学期入学：7月募集）

### 1 出願資格

次の(1)～(5)のいずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、(1)～(3)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 外国の大学院において修士の学位または専門職学位に相当する学位を得た者
- (2) 日本の大学院において外国人留学生として修士の学位または専門職学位を得た者
- (3) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (4) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (5) その他、本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学位を有すると認められた者で、本研究科入学までに24歳に達する者。ただし、日本において通常の課程による学校教育を受けたと認定した外国人を除く。

#### 【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

##### 1. 対象者

出願資格(4)または(5)に該当する志願者

なお、個別の入学資格審査に先立ち、志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります。

##### 2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

**【重要】**出願に先立ち、「大学院 Information2024」または理工学研究科ウェブサイトを参照のうえ、志望する研究領域の教員に必ず連絡し、「志望理由書」の所定欄に連絡した日付および教員名を記入してください。（本学理工学研究科在学学生を除く。）

### 2 出願書類

入学検定料35,000円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、巻末の「出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出すること。

出願書類【書類番号】	備 考
<b>全ての志願者が提出する書類</b>	
志願票（提出用）【①】	Web エントリー完了後に印刷したものを提出してください。
日本語または英語による志望理由書【②】	本学所定の用紙 ★本人自筆に限る
出身大学院の成績証明書【③】	成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。 ○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書（原本）を提出してください。 ○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。

	<p>○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）</p>
出身大学院の修了（見込）証明書【④】	<p>修了（見込）であること、入学年月および修了（見込）年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p><b>修了（見込）証明書は原本を提出してください。</b>原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p>
日本語または英語による研究計画書【⑤】	<p>2,000字程度 原本1部とその写し3部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書40字×40行）を使用して作成してください。</p>
在留カードまたはパスポートの写し【⑬】	<p>在留カードの場合は両面をコピーしてください。</p> <p>パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格、および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。</p>
写真 2枚	<p>最近3カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。（志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。）</p>
<b>出願資格(1)～(3)で出願する者のうち、すでに修士論文を提出済みの者</b>	
日本語または英語による修士論文の概要【⑥】	<p>2,000字程度 原本1部とその写し3部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書40字×40行）を使用して作成してください。</p>
日本語または英語による修士論文の写し【⑦】	4部
<b>出願資格(1)～(3)で出願する者のうち、修士論文を提出予定の者</b>	
研究業績【⑨】	<p>学術論文、学会発表、研究報告書の抜刷またはその写し各4部</p>

### 3 選考方法

書類選考および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

### 4 試験科目

筆記試験	口頭試問
行いません	口頭試問の開始時刻は受験票にて通知します。

注 口頭試問は提出した研究計画書、研究業績および修士論文とその概要に基づいて行います。

## D 社会人入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集/秋学期入学：8月募集）

### 1 出願資格

次の(1)および(2)に該当する者

(1) 次のア～キのいずれかに該当する者

ア 修士の学位または専門職学位を有する者

イ 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者

ウ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者

エ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者

オ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者

カ 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）

キ 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認められた者で、本研究科入学までに24歳に達する者

(2) 次のアまたはイのいずれかに該当する者

- ア {
- 出願資格(1)-ア、(1)-イ、(1)-ウ、(1)-エ、(1)-オによる志願者  
入学時において、博士課程前期課程（修士課程）修了後、同一の企業、官公庁、教育・研究機関等において継続して2年以上専門職に勤務している者
  - 出願資格(1)-カによる志願者  
入学時において、大学卒業後、大学・研究所等で継続して2年以上専門職に勤務している者
  - 出願資格(1)-キによる志願者  
入学時において、大学・研究所等で継続して2年以上専門職に勤務している者
- イ 本大学院において、個別の入学資格審査により、アに準ずる職歴を有すると認められた者

#### 【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

##### 1. 対象者

出願資格(1)-カ、(1)-キまたは(2)-イに該当する志願者

なお、個別の入学資格審査に先立ち、志望する研究領域の教員に連絡をする必要があります。

##### 2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

なお、出願資格(1)-カ、(1)-キによる出願は、出願前に行う学力認定試験に合格した者に限ります。学力認定試験は、書類選考の他に必要に応じて筆記試験および口頭試問を実施します。

**【重要】**出願に先立ち、「大学院 Information2024」または理工学研究科ウェブサイトを参照のうえ、志望する研究領域の教員に必ず連絡し、「志望理由書」の所定欄に連絡した日付および教員名を記入してください。

### 2 出願書類

入学検定料35,000円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、巻末の「出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出すること。

出願書類【書類番号】	備考
<b>全ての志願者が提出する書類</b>	
志願票（提出用）【①】	Web エントリー完了後に印刷したものを提出してください。
志望理由書【②】	本学所定の用紙 ★本人自筆に限る
出身大学院の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学院の成績証明書に記載がない場合は、留学先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）</p> <p>注3 <u>出願資格(1)ーカまたは(1)ーキ</u>により出願する場合は、最終出身学校の成績証明書を提出してください。</p>
出身大学院の修了証明書【④】	<p>出願書類③に、修了（見込）であることが記載されている場合は、提出不要です。</p> <p><u>修了（見込）証明書</u>は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>注 <u>出願資格(1)ーカまたは(1)ーキ</u>により出願する場合は、最終出身学校の卒業証明書を提出してください。</p>
研究計画書【⑤】	2,000 字程度 原本1部とその写し3部 パソコン等でA4用紙（横書40字×40行）を使用して作成してください。
研究業績【⑨】	学術論文、学会発表、研究報告書の抜刷またはその写し各4部
勤務先の所属長の承諾書【⑬】	様式自由
在留カードまたはパスポートの写し【⑮】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ （特別永住者を除く。）	在留カードの場合は両面をコピーしてください。 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。
写真 2枚	最近3カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。 （志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。）
<b>出願資格(1)ーア～オで出願する者のうち、すでに修士論文を提出済みの者</b>	
修士論文の概要【⑥】	2,000 字程度 4部 パソコン等でA4用紙（横書40字×40行）を使用して作成してください。
修士論文の写し【⑦】	4部
<b>出願資格(1)ーカまたは(1)ーキで出願する者および 専門職学位を有する者（または取得見込みの者）で修士論文を作成していない場合</b>	
業績報告書【⑧】	研究業績または業務内容の概要 2,000 字程度 原本1部とその写し3部 パソコン等でA4用紙（横書40字×40行）を使用して作成してください。

### 3 選考方法

書類選考および口頭試問の結果を総合して可否を判定します。

### 4 試験科目

筆記試験	口頭試問
行いません	口頭試問の開始時刻は受験票にて通知します。

注 口頭試問は提出した研究計画書、研究業績および修士論文とその概要に基づいて行います。

注 研究指導教員については変更することがあります。  
 変更が生じた場合は、本大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。  
 <[https://www.kansai-u.ac.jp/Gr\\_sch/](https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/)> (2024年4月現在)

2024年度 博士課程後期課程 研究領域および担任教員一覧 (予定)

専攻	分野	研究領域	教員氏名 (○は研究指導教員を表す)
総合理工学専攻	数学分野	コホモロジー的数理	教授 博(理)東工大 ○庄田敏宏
			教授 博(数理学)東大 ○藤岡敦
			教授 博(理)早大 ○村林直樹
			教授 博(理)名大 ○柳川浩二
	教授 博(理)阪大 ○和久井道久		
	准教授 博(数理学)東大 神吉雅崇		
	確率・統計	教授 博(理)阪大 ○上村稔大	
		教授 理博(阪大) ○竹田雅好	
		准教授 博(数理)九大 上原悠慎	
		准教授 博(理)立命館大 田口大	
	物理・応用物理学分野	基礎・計算物理	教授 博(理)京大 ○板野智昭
			教授 博(工)名大 ○伊藤博介
			教授 博(理)大市大 ○伊藤誠
			教授 理博(京大) ○関眞佐子
	教授 理博(京大) ○和田隆宏		
	准教授 博(工)名大 本多周太		
	光学・応用物理	教授 博(工)阪大 ○浅川誠	
		教授 博(材)北陸先端大 ○稲田貢	
		教授 博(理)京大 ○山口聡一朗	
		教授 博(工)東大 ○山本健	
准教授 Ph. D. (メリーランド大) 山本真人			
機械工学分野	ナノ機能物理工学	教授 博(工)慶應大 ○伊藤健	
		教授 博(工)広大 ○清水智弘	
		教授 理博(東工大) ○新宮原正三	
	流体工学・バイオメカニクス	教授 博(工)阪大 ○山本恭史	
		准教授 博(工)北大 大友涼子	
		准教授 博(工)関大 田地川勉	
	材料工学	教授 博(工)阪大 ○齋藤賢一	
		教授 博(工)京大 ○高橋可昌	
		教授 工博(関大) ○宅間正則	
		准教授 博(工)関大 佐藤知広	
	トライボロジー・情報マイクロメカトロニクス	教授 博(工)東工大 ○小金沢新治	
		教授 博(工)東大 ○谷弘詞	
		教授 博(工)岩大 ○呂仁国	
准教授 博(工)東京理科大 川田将平			
熱工学	教授 博(工)関大 ○梅川尚嗣		
	教授 博(工)同大 ○松本亮介		
	准教授 博(工)関大 網健行		
	准教授 博(工)京大 小田豊		
生産加工システム	教授 博(工)東大 ○古城直道		
	教授 工博(東大) ○山口智実		
	准教授 博(工)岡山大 廣岡大祐		
機械力学・制御工学	教授 博(工)東大 ○宇津野秀夫		
	教授 博(工)京大 ○山田啓介		
計測システム	教授 工博(阪大) ○新井泰彦		
	教授 博(理)広大 ○高田啓二		
	教授 博(工)阪大 ○前泰志		
ロボット・マイクロシステム	教授 博(工)東大 ○青柳誠司		
	教授 博(工)広大 ○鈴木昌人		
	准教授 博(工)東北大 高橋智一		
人間・生体情報工学	教授 Ph. D. (ペンシルバニア州立大) ○小谷賢太郎		
	准教授 博(工)青学大 鈴木哲		

注 研究指導教員については変更することがあります。  
 変更が生じた場合は、本大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。  
 <[https://www.kansai-u.ac.jp/Gr\\_sch/](https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/)> (2024年4月現在)

2024年度 博士課程後期課程 研究領域および担任教員一覧（予定）

専攻	分野	研究領域	教員氏名（○は研究指導教員を表す）		
総合理工学専攻	電気電子情報工学分野	電気工学	教授	博(工)東大	○ 大 橋 俊 介
			教授	博(工)東大	○ 濱 田 昌 司
			准教授	博(工)関大	米 津 大 吾
		機能性材料・デバイス	教授	博(工)阪大	○ 北 村 敏 明
			教授	博(工)阪大	○ 佐 伯 拓
			教授	理博(早大)	○ 田 實 佳 郎
		准教授	博(工)関大	佐 藤 伸 吾	
		准教授	博(工)筑波大	宝 田 隼	
		情報通信工学	教授	博(工)阪大	○ 平 田 孝 志
			教授	工博(阪大)	○ 山 本 幹
			教授	博(工)阪大	○ 四 方 博 之
			教授	博(工)阪大	○ 和 田 友 孝
		システム情報学	教授	博(工)京大	○ 伊 藤 秀 隆
			教授	博(工)慶大	○ 肥 川 宏 臣
			教授	博(工)金沢大	○ 三 好 誠 司
			准教授	博(工)岡山大	本 仲 君 子
		メディア処理工学	教授	博(工)阪大	○ 梶 川 嘉 延
			教授	博(工)大市大	○ 松 島 恭 治
			教授	博(工)広大	○ 棟 安 実 治
			准教授	博(情報科学)北大	吉 田 壮
		知能ソフトウェア工学	教授	工博(阪大)	○ 榎 原 博 之
			教授	博(工)名大	○ 小 尻 智 子
			教授	博(工)大市大	○ 徳 丸 正 孝
			准教授	博(工)同大	花 田 良 子



注 研究指導教員については変更することがあります。  
 変更が生じた場合は、本大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。  
 <[https://www.kansai-u.ac.jp/Gr\\_sch/](https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/)> (2024年4月現在)

2024年度 博士課程後期課程 研究領域および担任教員一覧（予定）

専攻	分野	研究領域	教員氏名（○は研究指導教員を表す）
総合理工学専攻	建築学分野	構造系	教授 博(工)京大 ○池 永 昌 容 教授 博(工)京大 ○榎 井 健 教授 博(工)京大 ○松 田 敏
		計画系	教授 博(工)京大 ○大 影 佳 史 教授 博(工)阪大 ○岡 繪 理 子 教授 博(工)阪大 ○亀 谷 義 浩 教授 博(工)東大 ○木 下 光 教授 工博(京大) ○藤 田 勝 也 准教授 博(美術)東京芸大 野 村 正 晴
		環境系	教授 学術博(奈良女子大) ○都 築 和 代 教授 博(工)京大 ○豊 田 政 弘 教授 博(工)阪大 ○原 直 也
	都市システム工学分野	地球環境系	教授 博(工)京大 ○尾 崎 平 教授 Ph. D. (南カリフォルニア大) ○飛 田 哲 男 教授 博(工)京大 ○安 田 誠 宏 准教授 博(工)山梨大 橋 本 雅 和 准教授 博(工)京大 林 倫 子
		設計建設系	教授 博(工)阪大 ○石 川 敏 之 教授 博(工)九大 ○鶴 田 浩 章 准教授 博(工)名大 上 田 尚 史 准教授 博(工)関大 北 岡 貴 文
		計画マネジメント系	教授 博(工)東北大 ○北 詰 恵 一 教授 博(工)阪大 ○尹 禮 分 准教授 博(工)名大 井ノ口 弘 昭
		情報システム系	教授 工博(京大) ○兼 清 泰 明 教授 博(工)関大 ○窪 田 論 教授 博(工)立命大 ○滝 沢 泰 久 教授 博(工)奈良先端大 ○安 室 喜 弘 准教授 博(工)奈良先端大 安 達 直 世
	工都建 学市学 分学 野ス分 共テ野 通ム・	地域再生学	教授 博(工)阪大 ○岡 繪 理 子 教授 博(工)東北大 ○北 詰 恵 一 教授 博(工)東大 ○木 下 光
	エネルギー環境・化学工学分野	エネルギー工学	教授 博(工)関大 ○池 永 直 樹 教授 博(工)関大 ○中 川 清 晴 教授 博(工)関大 ○村 山 憲 弘 准教授 博(工)阪大 福 康 二 郎 准教授 博(工)横浜国大 松 岡 光 昭
		環境化学	教授 工博(京大) ○岡 田 芳 樹 教授 博(工)阪大 ○田 中 俊 輔 教授 博(工)京大 ○林 順 一 教授 博(工)関大 ○山 本 秀 樹 准教授 博(工)関大 荒 木 貞 夫 准教授 博(工)阪大 木 下 卓 也

注 研究指導教員については変更することがあります。  
 変更が生じた場合は、本大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。  
 <[https://www.kansai-u.ac.jp/Gr\\_sch/](https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/)> (2024年4月現在)

2024年度 博士課程後期課程 研究領域および担任教員一覧 (予定)

専攻	分野	研究領域	教員氏名 (○は研究指導教員を表す)			
総合理工学専攻	化学・物質工学分野	金属材料設計	教授 博(工)阪大 ○上 田 正 人 教授 博(工)大府大 ○森 重 大 樹			
		金属材料プロセス	教授 工博(京大) ○竹 中 俊 英 教授 博(工)阪大 ○西 本 明 生 教授 博(工)関大 ○星 山 康 洋 教授 博(工)北大 ○丸 山 徹			
			金属・無機材料物性	教授 博(工)三重大 ○荒地 良 典 教授 博(工)慶應大 ○内 山 弘 章 教授 工博(京大) ○幸 塚 広 光 教授 博(工)京大 ○竹 下 博 之 教授 博(工)阪大 ○春 名 匠 准教授 博(学術)東京医科歯科大 近 藤 亮 太		
				無機・物理化学	教授 博(理)阪大 ○青 田 浩 幸 教授 工博(阪大) ○石 川 正 司 教授 博(理)九大 ○川 崎 英 也 准教授 博(工)慶應大 山 縣 雅 紀	
					有機化学	教授 博(工)阪大 ○梅 田 壘 教授 博(工)岐阜大 ○大 洞 康 嗣 教授 博(工)関大 ○坂 口 聡 教授 工博(阪大) ○西 山 豊 准教授 博(理)大市大 矢 野 将 文
						高分子化学
		生体材料化学				
			生体機能分子化学	教授 工博(阪大) ○石 田 齊 教授 博(工)東大 ○葛 谷 明 紀 教授 博(理)名大 ○矢 島 辰 雄 准教授 博(理)奈良女子大 中 井 美早紀		
				計算物質科学		
				生命・生物工学分野	バイオテクノロジー	教授 博(工)関大 ○岩 木 宏 明 教授 博(農)京大 ○老 川 典 夫 教授 農博(東大) ○片 倉 啓 雄 教授 博(工)阪大 ○松 村 吉 信 教授 博(生物資源)福井県立大 ○山 中 一 也 准教授 博(工)神大 岡 野 憲 司 准教授 博(工)関大 佐々木 美 穂 准教授 博(工)阪大 山 崎 思 乃
	ライフサイエンス					教授 博(理)阪大 下 家 浩 二 教授 博(薬)京大 ○住 吉 孝 明 教授 博(薬)京大 ○長 岡 康 夫 教授 博(水産)北大 ○福 永 健 治 准教授 博(工)関大 細 見 亮 太 准教授 博(理)北大 日下部 り え 准教授 博(理)阪大 安 原 裕 紀 准教授 博(生命科学)京大 山 口 賀 章